

○氏名：山口 義道 (PE-0168)

2009年3月にWashington State department of licensing (以下DOL) にPEとして登録を完了致しました。登録までの手続きについてはJSPE マガジン1月号、4月号に多数体験記が紹介されており、共通点多かったことから、苦労した点、感想を中心に紹介致します。



PE 登録までの流れ

2000年4月 FE 試験受験 (東京)

2008年4月 PE 試験受験 (東京)

2008年6月 PE 試験合格通知

2008年9月 JSPE 合格祝賀会参加

2008年10月 申請準備開始

- 電子メールにてDOLへ申請における疑問点を確認(計10回)
- 大学より卒業証明書、成績証明書(英語)入手
- JSPEで知り合ったメンバーと情報交換(～登録まで)
- 申請書類の作成、Referenceの依頼

2008年11月 申請書類送付開始

- NCEESへPE試験証明書依頼書送付
- DOLへPE登録申請書、履歴書送付
- VerifierからDOLへreferenceの送付

2008年12月 DOLからレターあり。不足書類について追加対応

- Osbeels(オレゴン州)への依頼(FE試験証明書をDOLへ送付)
- DOLから送付されてきたLaw and Ethics試験の回答作成
- 電子メールにてDOL, Osbeelsへ進捗確認(計5回)

2009年1月 第二次申請書類送付開始

- DOLへLaw and Ethicsの送付

2009年3月 Wall Certificate 受領

→ 終了

提出書類

各機関に提出した書類をまとめると以下の通りです。なお1)、2) 3)、6) はDOL ホームページ内の同一pdf ファイルです。道のりはJSPE 4月号の体験記とほとんど同じでした。

- 1) PE 登録申請書 (Application by Comity)
→ DOL ホームページより入手、DOLへ送付
- 2) 履歴書 (Experience and Verification)

- DOL ホームページより入手、DOL へ送付
- 3) PE 試験証明書 (Exam Verification request)
 - DOL ホームページより入手、NCEES へ送付
- 4) FE 試験証明書 (Exam Verification request)
 - Osbeels よりメールにて入手、Osbeels へ送付
- 5) 大学卒業証明書、成績証明書 (英語版)
 - 大学より入手、DOL へ送付
- 6) 履歴書の確認(reference)
 - DOL ホームページより入手、Verifier よりDOL へ送付
- 7) Law and Ethics 試験
 - DOL より郵送にて入手、DOL へ送付

登録までの苦労した点、感想

- 1) わからないことはとことんメールで確認しました。

登録を進めるにあたり、日本においてPEN からPE に登録するといった申請手続きはまだまだ実績が少なかつたことから圧倒的に情報は不足しておりました。勿論JSPE からの情報も重要であり、大いに参考にさせて頂きましたが、やはり万人に共通した回答があるわけではないので、直接DOL とやりとりすることが確実だと考えました。本当にわからない情報を聞くだけでなく、わかっている確認の意味でメールすることも多く、おそらくDOL の担当者にとっては面倒で手のかかる申請者であったと思います。「提出する書類はこのフォーマットでよいか?」「reference は3人いないと駄目か?」「申請書類は全て届いたか?」「ライセンスはいつ頃届くのか?」「Law and Ethics は落ちたら何回でも受けられるのか?」などなど。10回を超えるやりとりをしましたが、DOL からは毎回快く、かつ素早い返事を頂くことができました。これもJSPE の方々の日ごろの活動がDOL に認められているからこそだと思います。またメールする際には極力、以前の数回分のメール履歴をつけたり、pdf ファイルでPE 試験やFE 試験の合格証書の添付をつけたりするなど、相手に自分を覚えさせることを心がけました。

- 2) 悩んで躊躇するよりも自分なりの完成度で前に進むことを心がけました。

このような申請作業をするにあたり、何をどのように書いたらいいのかわからず、悩んでいるうちに時間だけが過ぎてしまうという経験がよくあると思います。ただこの申請手続きは、「不備があったら登録されない」というわけではなく、「不備があったら指摘を受け、追加要求をうける」だけのことです。私はわからないことは事細かく、メールにて確認後、あとは自分なりに仕上げたら、すぐ提出することを心がけました。そうすることで自分に本当に必要な手続きを知ることができ、余計な手続きに時間をとられることもなくなるからです。特に私の場合、reference して頂ける社内のPE の方が1人しかいなかったことが一番の懸念点としてあり、当初申請手続きに対して二の足を踏んでおりました。しかし、事前にDOL にメールで、「弊社は製造業であり、PE が少ないため3人のreference を集めることが出来ないが、この場合登録は難しいか」と確認し、その問いに対してDOL より「日本にはPE が少ないことは知っている。可能な範囲で集めてくれ」という回答があったことから、この言葉を信じ、結局1人のまま手続き書類をDOL に送付 (その時のメールのやりとりもプリントアウトして一緒に送付) し、結果的に登録を認めていただきました。勿論その分、履歴書は手書きでぎっしり書くといった最善の誠意を見せ

る努力はいたしました（笑）。二番目の懸念として、ABET の認証が必要か、という点もありました。実際に ABET の認証をもらうためには大学の英語版シラバスが必要になりますが、私の大学ではそのような書類は準備されていなかったため、自分で作成しなくてはならず、これが大変な手間になることがわかり、こちらも申請手続きに対して二の足を踏む原因となりました。当初はDOLに対して認証機関はCPEES だけか？といった問い合わせをしておりましたが、本当に自分の申請においてABET申請が必要なのかどうか、という点も明らかではなかったため、ABET 認証なしでDOL に申請手続きをすることにしました。結果的には登録されるまで提出を要求されることはありませんでした。理由はよくわかりませんでしたが、現在の会社に入社して8年以上経過していることが免除の対象となったと想像しております。こちらも悩むよりも進めの精神のおかげで、無駄な手続き作業を踏まずにすみました。

3) 相談できる仲間を見つけました。

このような申請手続きを進めるにあたり、たくさんの皆さんに励まされ、勇気を持つことが出来ました。一番よかったと思ったことはPE の合格祝賀会に参加したことです。こちらでは私と同じPEN の方々と知り合うことができ、皆申請方法について悩んでいる状態でした。一部の方々とはその後、登録までの間、メールで励ましあったり、進捗を確認しあったり、新しい情報を共有したり。おそらくこのような仲間と知り合えたことが、あきらめずに登録までたどりつけた勝因だと思います。また祝賀会ではJSPE が持っている情報をお聞きすることも出来、また既にPE 登録されている先輩方からは興味深い話をたくさん聞くことができ、諦めずに登録を目指そうという気持ちを持つことができました。今後PE 登録される予定の方々には是非参加をお勧めします。またそのような場を提供してくださったJSPE のの方々には本当に感謝致します。

最後に

ここまで辿りつくのも大変でしたが、これでやっとスタートラインに立てたと思っております。今後、PEとしての理念を忘れずにエンジニアとしての技術力向上に邁進していきたいと思っております。またJSPE 会員にも登録させて頂きましたので、皆さんと一緒に日本におけるPE の普及活動に貢献させて頂きたいと思っております。今後よろしくお願い致します。